

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2023年10月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



&lt;お問い合わせ先&gt;

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島  
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F  
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510  
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2023 年 10 月度ギャラクシー賞月間賞

### 何曜日にも生まれたの

8 月 6 日～10 月 8 日放送 22：00～22：54 朝日放送テレビ

作劇と現実が複層的に交錯しながら天才作家とヒロインが共振しあっていく。最終話で二人がフィクションを乗り越えて迎えるリアルの着地にキュンとさせられた。脚本家として虚実を往来し続ける野島伸司自身の苦悩が天才作家のキャラに落としこまれたような一作。野島ワールドの深化を感じた。

### リクエストラベル～大泉洋が“あなただけの北の旅” ツアコンしちゃいます～

10 月 9 日放送 19：30～20：53 日本放送協会

NHK札幌放送局が大泉洋をメインに据え、明石家さんま×松山千春という、大いに癖のある 2 人を見事に？ハンドリング。台本通りを 100%とすれば、強烈なハプニングをプラスに転がし、200%の面白さを創出することに成功した。テレビって、バラエティってこうあるべし、という若き作り手たちへのお手本番組となった感がある。

### 夜ドラ「わたしの一番最悪なともだち」

8 月 21 日～10 月 12 日放送 22：45～23：00 日本放送協会

とにかく主演の蒔田彩珠と高石あかりがよかった。憧れの友だちを真似したつもりが、実はその友だちも相手に憧れを持っていたという構図を丁寧に描き、二人の若い俳優たちがその関係をナチュラルに演じ、好感度の高いドラマとなった。就職してからのほたるが活躍し過ぎでは？とも思ったが、蒔田の好演が不自然さを感じさせなかった。

### NHKスペシャル「OSO18 “怪物ヒグマ” 最期の謎」

10 月 15 日放送 21：00～21：50 日本放送協会

本来は草食なのに次々と牛を襲うことで“怪物”と呼ばれ、OSO18 という名がついて、4 年に渡り特別対策班に追われていたヒグマ。人間が変えてしまった自然環境のなかで肉食になった挙句、若くして体に異変が起きていたことが番組の取材でわかる。ラストの國村隼によるナレーションがなんとも切なく、考えさせられるドキュメンタリー。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024 年 1 月号に掲載します